

那覇を彩る
染織り “^{うるく}小禄クンジー”

沖縄産業の父「儀間真常」がもたらした木綿、甘藷、砂糖製造等は古くから私たちの生活に深い関りがあり沖縄民謡“三村節”にも歌われる“小禄クンジー”は琉球王国時代から戦前まで小禄地域の代表的な木綿織物であり主要産物でした。藍染木綿糸を使い、機織機でコースター作りの体験を通して、文化資源として現代に継承される“小禄クンジー”に触れ、郷土の歴史と文化を学びましょう！



小禄クンジーは、小禄の代表的な木綿の織物！沖縄戦以降、継承が途絶えていましたが、2006 年小禄南公民館での講座がキッカケで研究会が発足し、技術が継承され現在に至ります。

日時:8月20日(水)13時~16時

場所:小禄クンジー研究会作業所

(字小禄自治会館内 那覇市字小禄 5-4-6 ☎098-857-8112)

【対 象】 那覇市在住・在勤・在学の人

【定 員】 8 名 ※申込多数の場合は抽選になります

【受付】 7/22(火)～8/8(金) 17時まで

【参加費】 1,050 円(材料費・保険料等)

【申込み】 電話・窓口・QRコードにて

【問合せ】 那覇市小禄南公民館

☎ 917-3444 (平日 9 時~17 時)



主催：那霸市小祿南公民館